

テーマ：「教えて、尼崎！ みんな知りたい、市民のホンネ」
(県立武庫荘総合高校 放送部)

(10/29, 11/1 放送分)

稲村 皆さん、こんにちは。尼崎市長の稲村です。今回も、元気いっぱい、市内の高校生の皆さんによる番組をお楽しみいただきましょう。

それでは、さっそくスタートです。どうぞ。

森本・大石 教えて、尼崎！ みんな知りたい、市民のホンネ！

森本・大石 皆さん、こんにちは。

森本 私たちは、県立武庫荘総合高校 放送部です。本日のお相手は、部長の森本理紗子と、

大石 1年の大石穂です。

森本・大石 よろしくお願ひします。

森本 さてさて、尼崎の学校に通う2人ですが、住んでいる所は、お隣の伊丹市と宝塚市なんです。

大石 なので今回は、もっと尼崎のを知るために、学校の先生や生徒の方にインタビューをしてきました。さっそくその一部をお聴きください。

回答4 汚いイメージがあるじゃないですか。市としたら、きれいにしようと思って一生懸命考えて、どんどん変わっていったところがあると思うけれども、でもイメージとして定着していないですよ。神戸なんか、すごくハイカラなイメージがあるけれども、実は下町とか、めっちゃ汚いし。そういう所に比べても、尼崎って、そんなに劣るようには思わないけれども、イメージが悪いですよ。

回答5 南北の行き来が、すごくし辛いかな。電車で来ても、横には渡れるけれど、ここからJRの尼崎までって、すごく行きにくいでしょう。もう一本、この辺に電車が通ればいいのになって思う。

回答6 印象が、多分、全国的にあんまり良くない部分もあるんだけど、特に、私はそこで生まれ育っているんですけど、「まあいいか」という部分かも知れないけど、駅前に自転車が放置されているケースが多かったりとか、一番気になるのは、そういう自転車のルールとか、色んなルールを守れないことかもしれないです。

回答7 自転車とか、単車、バイクの交通マナーが結構悪いから、車運転してて怖いなっていうところもありますね。車も結構悪かったりするけど、それでちょっと最初はびっくりしたかな。

あと、来てびっくりしたのが、駐車場代がすごく高い。便利だからかも知れないけど、駅近くとか。今まで自分が姫路とか、向こうの方、西の方に住んでいたからかも知れないけど、駐車場代がすごく高いので、車を維持するのが結構大変なんかなと思います。

大石 尼崎は、自動車の交通量が多いですが、言われてみれば確かに、自転車も毎日たくさん走っていますよね。

森本 なので、尼崎市役所生活安全課 川本さんに、お話を伺います。よろしくお願いします。

川本 よろしくお願ひします。

森本 インタビューのなかで、「交通マナーが悪い」という意見が多かったんですが、実際、その原因となるものは何ですか。

川本 原因としましては、自転車は非常に身近な乗り物であるため、逆にそのルール、例えば、自転車は車と同じ仲間の「車両」ですから、原則として車道の左側を走らなければならない、といったことを「知らない」ということがあるかもしれません。ただ、子供は大人の姿を見えていますし、下級生は上級生の姿を見えていますから、ぜひ皆さんも、「ルールを守って正しく走る」、「信号を守って正しく止まる」、「鍵をかけて決められた場所に正しく停める」という3つを、ぜひよろしくお願ひします。

大石 私たちも誰かのお手本になっているんですね。ありがとうございます。最後に、他に何かお伝えしたいことはありますか。

川本 はい、あります。実は尼崎市では、今年の4月から、自転車で移動しやすいことを「まちの強み」と位置づけるとともに、「環境にも優しい」といった自転車のメリットを最大限に活かすため、市役所のなかに、自転車のプロジェクトチームを作って、総合的に取組みを進めています。来年度から、これまでにない取組みを行っていく予定ですので、楽しみにしててください。

森本 私たち学生にとっては、自転車が一番身近な乗り物なので、これから気をつけて乗るようにしていきます。

森本 続いては、尼崎市役所放置自転車対策担当の藤中さんに、お話を伺います。よろしくお願いします。

藤中 よろしくお願ひいたします。

森本 実際、放置自転車について、どのような対策をとられていますか。

藤中 はい。現在、尼崎市では、市内を3つの地域に分けて、駅前周辺の放置自転車対策業務を、同じ業者に一括して委託しております。具体的には「市営自転車駐輪場の管理する業務」、「放置自転車を撤去する業務」、「自転車を放置しようとする人に対し啓発や、乱雑に放置されてしまった自転車を整理する啓発整理業務」などを一括して委託して、自転車対策を講じております。

それに加えてですね、駅前周辺に民間駐輪場が充足するように補助金制度をつくり、民間駐輪場が増設されるよう促しております。

こうした取組みの結果ですね、平成26年度には2,000台程度あった放置自転車が、今年の6月の調査時点では1,400台と、600台の減少が見られました。

大石 そうなんですか。「放置自転車が減っている」と言っても、まだまだ数が多いですね。

藤中 そうですね。そこで、皆さまにお願ひがありまして、自転車は必ず駐輪場にとめていただくよう、よろしくお願ひいたします。

森本 私たちの意識で、まちはきれいになります。私たちのまちを、私たちの手できれいにしていきたいと思います。

大石 川本さん、藤中さん、

森本・大石 ありがとうございます。

川本・藤中 ありがとうございます。

森本 大石さんも、毎日通学に自転車を使っていますよね。

大石 そうですね。3年間学校まで、毎日走り続けます。

森本 じゃあ、今回のお話をふまえて、これからもマナーを守って、自転車に乗りましょう。

大石 はい。

森本 お送りしたのは、県立武庫之荘総合高校 放送部 部長、森本理紗子と、

大石 1年、大石穂でした。

森本・大石 さようなら！

稲村 いかがでしたか。それでは、次回の放送もお楽しみに。

以 上